

令和5年度第2回 愛西市子ども子育て会議 会議録（概要）

会 議 名	令和5年度第2回 愛西市子ども子育て会議
開 催 日 時	令和5年10月31日（火）午後2時から午後3時20分まで
開 催 場 所	愛西市役所 北館 会議室2-1
出 席 者	別紙のとおり
欠 席 者	難波知里委員、青木夕紀子委員、神田倫代委員
議 事 等	<p>●議事</p> <p>(1) 第3期愛西市子ども・子育て支援事業計画（ニーズ調査）について</p> <p>(2) 保育園等の状況について</p> <p>(3) その他</p>
公開/非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	0人
会 議 資 料	<p>資料1-① 子育て支援に関するアンケート調査について（就学前児保護者用）</p> <p>-② 子育て支援に関するアンケート調査について（就学児保護者用）</p> <p>-③ 子育て支援に関するアンケート調査について（中学生・高校生用）</p> <p>資料2 保育所等の状況について</p>
審 議 経 過	別紙のとおり

愛西市子ども子育て会議委員

役 職	氏 名	備 考
委員	吉村 譲	
〃	佐藤 言葉	
〃	難波 知里	欠席
〃	堀田 真吾	
〃	山北 茂代	
〃	吉川 哲也	
〃	青木 夕紀子	欠席
〃	安達 和枝	
〃	神田 倫代	欠席
〃	鈴木 幸子	
〃	小塚 陽子	
〃	山内 清乃	
〃	寺本 英予	

事務局

役 職	氏 名	備 考
健康子ども部長	清水 栄利子	
保険福祉部参事	高松 潤也	
子育て支援課長	水野 裕公	
子育て支援課 指導保育士	横江 一実	
子育て支援課 課長補佐	佐藤 安成	
子育て支援課 課長補佐	渡邊 竜樹	
子育て支援課 主任	奥田 拓	
Next-i 株式会社	佐野 華子	

審議経過

発言者	内容（概要）
事務局	<p>開会 この会議については、公開となっているが、本日の傍聴はなし。</p> <p>(健康子ども部長あいさつ)</p>
会長	<p>協議事項（１）第３期愛西市子ども・子育て支援事業計画（ニーズ調査）について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料１-①、②、③に基づき説明</p>
会長	<p>委員の皆様から意見、質問はありますか。</p>
委員	<p>このアンケートの回答用紙はあるのか。このアンケート用紙にそのまま書くのか。</p>
事務局	<p>この用紙を配布し、郵送の方は用紙に丸をつけて返信するかたちとなる。</p>
委員	<p>就学前児の間 29 は、当てはまる番号に丸をつけ、該当する括弧内に数字を記入するとあるが、括弧がない。ここは直す必要がある。</p>
事務局	<p>現在、事務局で校正中である。あらためて見直していく。</p>
委員	<p>中・高生用のアンケートは、大人向けの言葉で書かれているが、敬語や謙譲語は分かりにくくなるので、普通の言い方で書いたほうがいいのではないか。具体的には、調査の御協力をお願いのところに「皆さまには」で始まっているが、「皆さんには」でいいと思う。それから、「第２期愛西市子ども・子育て支援事業計画を策定し」という非常に難しい言葉が使っているが、単純に「事業計画をつくり、様々な子育て支援事業に取り組んでいます」というような当たり前の普通の表現のほうがいいのではないか。ほかにも問 11 で「答えた方」と書いてあるが、「答えた人」のほうがいいと思う。問 13 のところで「家族・親族とあなたのかかわりはどのようなものですか」となっているが、普通に家庭や家族というような表現のほうがいいのではないか。問 15 で「地域の人（近所の人、町内会などの知人）」、次に「消防団などの地域活動での知人」と書いてあるが、中・高生で消防団の活動をやっているのかというようなことなど、疑問に思うことがあった。それから、問 2 で、あなたの性別を教えてくださいと書いてあって、「１番男性、２番女性、３．その他」とあるが、中・高生に「３．その他」というのは本当に必要なかどうか。いまジェンダーのことで話題になることがあるが、「３．その他」をつくらなくてはいけないのか。学校のほうがどうなっているのか気になる。</p>

事務局	中高生向けのアンケート調査票において、大人向けの言葉遣いが見られるので、業者とも相談しながら、もっと分かりやすい表現に直していきたいと考えている。男性、女性、その他というところは、いま他のまちでも制作している業者に最近の状況を聞いてみたい。
事務局	大人用のものは、「その他」というよりも、「どちらでもない」というような書き方をしており、ここ2年ほどはそれを入れる状況が多い傾向がある。男性・女性という2択ではなく、それ以外を選べるようにする傾向が、大人の調査であっても子供の調査であっても、出てきているというのが現場感である。実際に、「その他」や「どちらでもない」に丸をつける方は、少ないながら一定数いるのが現状である。
事務局	事務局としては教育部局にも確認し、調整の上、必要な項目があれば入れていきたい。
会長	今後検討してほしい。
委員	前回アンケートと変わった点を教えてほしい。
事務局	未就学前児の調査において、新たに付け加えたところは問14-1、こちらは国の調査票に合わせて回答の部分を変えている。8ページ、7番に事業所内保育施設というのがあるが、こちらも国の調査票に即して変えている。また、15ページの問24も国の調査票に合わせて作成を変えている。また、就学児の調査において、問9から問9-6まで、放課後児童クラブの内容だが、国の調査項目を入れている。中・高生については、新規の調査である。
委員	中・高生向けアンケートについては、硬い文章のままでいいと思う。こういうアンケートをするということは社会人の一歩と考えると、難しい言葉でも逆に、分からなければ親子で話して知っていくというのも大事なことだと思う。他の委員がどう思われるか知りたい。一つの意見ではなくて皆がどう思うかを聞いてから判断したほうがよい。
会長	他の委員の意見はいかが。
委員	私もどちらかというところ、このままでいいと思う。個人の意見として尊重していることが伝わるのでいいと思う。
会長	他に意見はないか。
委員	性別のところ、で、「その他」の選択肢を入れた方がいいと思う。

事務局	<p>各委員からの意見を踏まえ、事務局で直していきたい。修正は任せてほしい。</p> <p>(異議なし)</p>
会長	<p>中・高生向けアンケートで、問6の真ん中の線は要らないと思う。ほかにもあるのでよく見直してほしい。</p>
事務局	<p>事務局で再度しっかりと校正を行っていく。</p>
会長	<p>インターネットでID、パスワードを入れてアンケートの回答をした後、もう一度自分がどんな回答をしたか確認することは可能か。</p>
事務局	<p>入力中に戻ることは可能である。ただし、回答の前に自分がどう答えたかを一覧で出るようなシステムが用意できるのかどうかは今の時点で把握していない。</p>
委員	<p>今聞いたのは、回答が全部終わってからもう一回確認することができるかということだ。</p>
事務局	<p>アンケートを送信した後はもう確認はできない。一度送ってしまうとID、パスワードも無効になる。</p>
委員	<p>回答を1回にするためにそうなっているのか。</p>
事務局	<p>2回同じ人が回答できないようにするためである。</p>
委員	<p>回答内容が自分のメールアドレスに送られるというシステムもないということか。</p>
事務局	<p>今のところできないと考えている。</p>
会長	<p>紙でも出しネットでも出した人は、どちらを優先するのか。</p>
事務局	<p>新しい回答を優先するというのがセオリーだと思う。</p>
会長	<p>他にいかが。</p> <p>(挙手する者なし)</p>
会長	<p>事務局で検討してもらい、よりよいものを作ってもらえたらと思う。</p> <p>続きまして、協議事項の2に移らせていただこうと思います。</p>

	協議事項2. 保育園等の状況についてということで、これも事務局から説明をよろしくお願いいたします。
事務局	資料2について説明
会長	質問はないか。
委員	少子化といえども、これから子育てを計画されている方は少なからずいる。そういう方にとって保育園探しは、自ら電話をしたり園に出向いたり、かなりの体力と時間を使うことだと思う。そういう方たちのためにも早く計画的に情報提供をしてもらえるとありがたい。
委員	12年度で終わる話について、入所を段階的に減少させていくとか、いつからもうなしにするとか、そういうことは考えていないのか。
事務局	廃園が正式に決まったら、毎年の入園申込みの際、また随時の申込みの際に、しっかりと周知していくが、令和12年度末までの運営となることを伝え、それでもよいという方のみを受け入れるというかたちになる。情報はしっかりと伝えていきたい。必要があれば転園の支援も行っていく。
会長	その他はいかが。
委員	閉園の後に、市街化が広まった場合のことを考えているか。
事務局	今回提示したのは見込みの数字だが、愛西市内全体で考えると、各園余裕がある部分も多い。その辺は市全体で考えていきたい。
委員	佐織地区に住んでいて佐屋地区の園には、あまり行かないと思う。全体として佐屋地区は特に定員規模が大きいが。
事務局	今回試算したところによると、今後新たに整備するところもあり、佐織地区だけでも十分受け入れはできる。状況を見ながら定員の数の調整はしていきたい。
委員	整備では定員は増えないと思う。基本的にデータ上は大丈夫だと思うが、園舎を建てる時に人数は急に増やせないで。
事務局	施設のキャパシティについては、各園と相談しながら行っている。受け入れができる方向にしていきたい。
委員	定員を増やすとそれだけ建築費は上がるので、建てるほうは大変だと思う。

会長	佐織保育園の廃園については、今後の見通しをもって進めてほしい。ほかに意見は。
委員	(挙手する者なし)
会長	では、ないようでしたら次の議題の3. その他に移ろうと思いますが、その他、何かありますか。
事務局	次回は2月1日木曜日の午後2時からお願いしたい。
委員	(異議なし)
会長	それでは、本日の予定していました議題についてはこれで終了となります。これをもちまして第2回愛西市子ども子育て会議を終了します。